

事業系ごみに関する事業者アンケート調査結果報告書

令和8年3月

枚方市

目次

1. アンケート調査の目的.....	1
2. アンケート調査の概要.....	1
3. アンケート調査の結果.....	2
1 ごみ処理責任について	2
(1) 事業系ごみの処理について	2
(2) ごみの排出量の把握について	3
(3) ごみ減量に関する責任者について	4
(4) ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手先について	5
2 食品ロスの削減について	6
(1) 食品ロス削減への関心について	6
(2) 食品ロス削減の行動について	7
(3) 資源化可能な食品廃棄物のリサイクルについて	8
(4) 食品ロス削減や食品廃棄物のリサイクルに向けた今後の取り組みについて	9
3 ごみの減量・リサイクルについて	10
(1) 事業所から発生する紙類について	10
(2) 紙類の減量及びリサイクルについて	12
(3) プラスチックごみの分別について	13
(4) その他ごみ減量・リサイクルの取り組みについて	14
(5) ごみ減量・リサイクルの課題について	15
4 市の施策について	16
5 ご意見について	17
6 貴事業所について	18
(1) 貴事業所の業種について	18
(2) 貴事業所の形態について	19
(3) 貴事業所の従業員数（パート・アルバイトを含む）について	19

1. アンケート調査の目的

枚方市では、安全で安定的なごみ処理体制を確保することを基本に、ごみの減量やリサイクルなどの様々な取り組みを推進しており、今回、次期一般廃棄物処理基本計画の策定に向けて、今後のごみ減量・リサイクル施策の検討などの基礎資料として活用するため、事業者にアンケート調査を行いました。

2. アンケート調査の概要

アンケート調査の概要を以下に示す。

アンケート実施概要

項目	内容
調査対象	枚方市内の事業所から無作為に 563 事業所を抽出
調査項目	1 ごみ処理責任について 2 食品ロスの削減について 3 ごみの減量・リサイクルについて 4 市の施策について 5 ご意見について 6 貴事業所について
調査方法	郵送による配布・回収(Web 回答可)
調査期間	令和 7 年 7 月 4 日 (金) ～8 月 1 日 (金)
回収率	244 社/563 社 (43%)

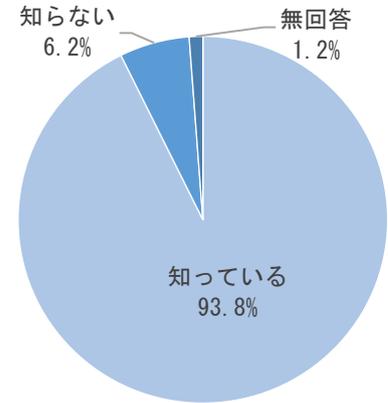
3. アンケート調査の結果

1 ごみ処理責任について

(1) 事業系ごみの処理について

[事業活動に伴って発生するごみについては、市では収集せず、事業者が自らの責任で処理する必要があることを知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	知っている	226	93.8%
2	知らない	15	6.2%
3	無回答	3	1.2%
4	合計	244	100.0%

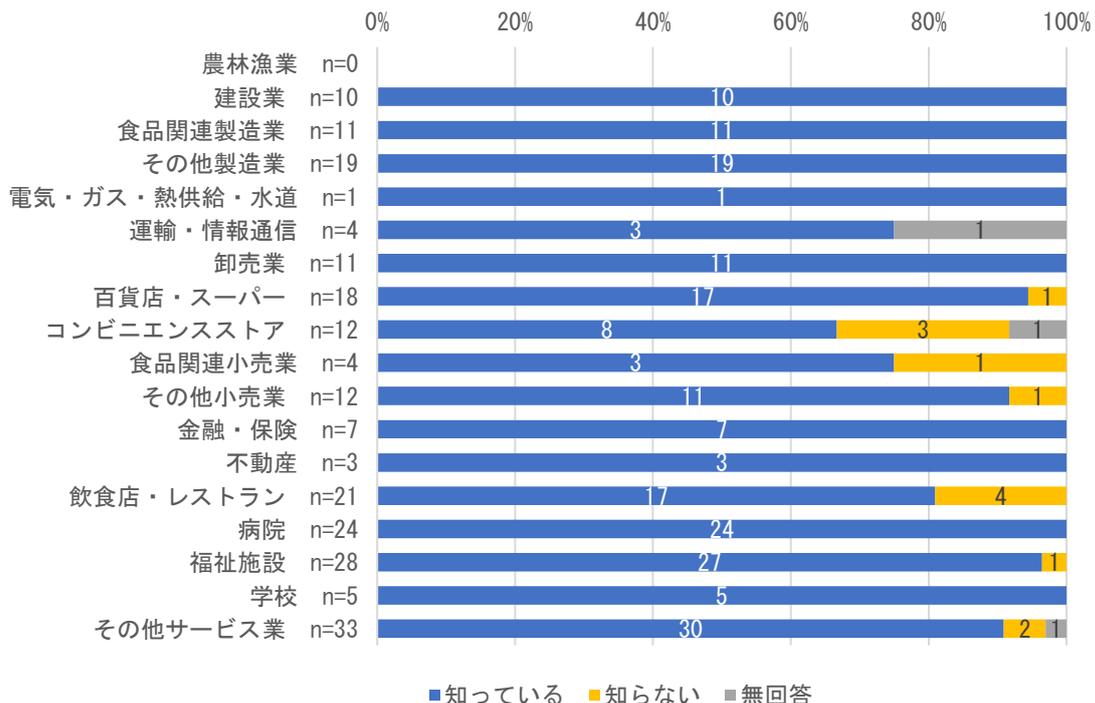


排出事業者責任について、「知っている」と回答した事業者が93.8%という結果となっている。

N=244

<業種別クロス集計>

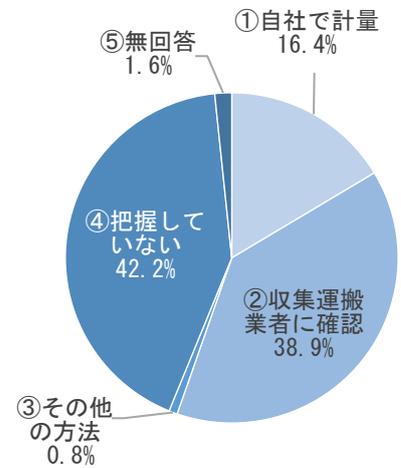
業種別のクロス集計結果からみると、食品関連事業者（百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、食品関連小売業、飲食店・レストラン）において「知らない」と回答している割合が比較的、高い傾向となっている。



(2) ごみの排出量の把握について

[貴事業所では、ごみ（産業廃棄物を除く）の排出量を把握していますか。あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	自社で計量して、ごみの重量または袋数を把握している	40	16.4%
2	収集運搬業者に確認するなどして、ごみの重量または袋数を把握している	95	38.9%
3	その他の方法で把握している	2	0.8%
4	把握していない	103	42.2%
5	無回答	4	1.6%
6	合計	244	100.0%

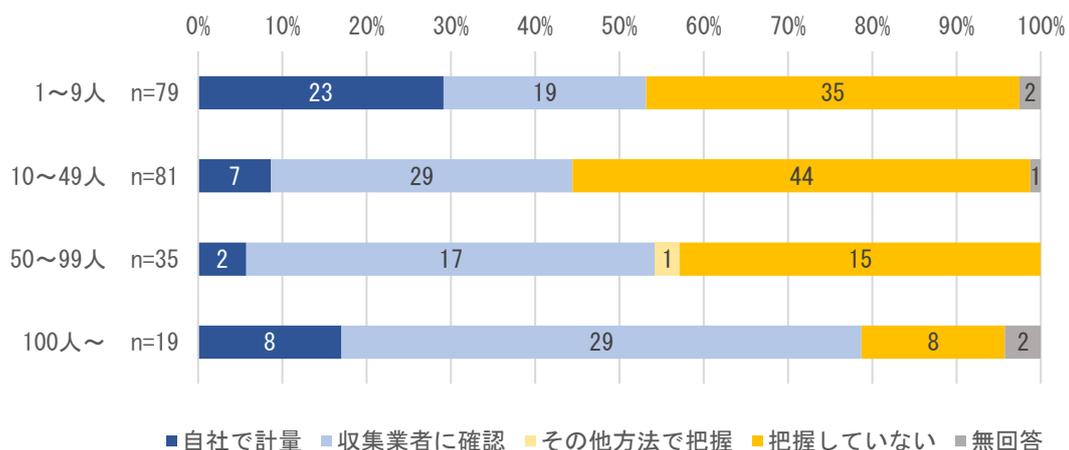


自社のごみの排出量を把握している事業者は、56.1%という結果となっている。

N=244

<従業員数別クロス集計>

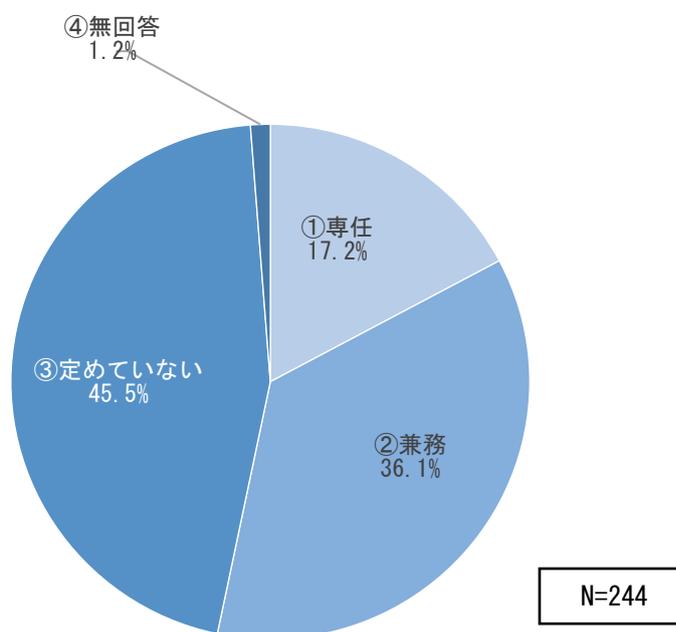
従業員数別のクロス集計結果からみると、従業員数の多い事業所ほど、自社のごみの排出量を把握している割合が高い傾向となっている。



(3) ごみ減量に関する責任者について

[貴事業所では、ごみ減量に関する責任者を設置していますか。あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	専任の責任者を定めている	42	17.2%
2	他の役割（総務など）との兼務としている	88	36.1%
3	責任者を定めていない	111	45.5%
4	無回答	3	1.2%
5	合計	244	100.0%

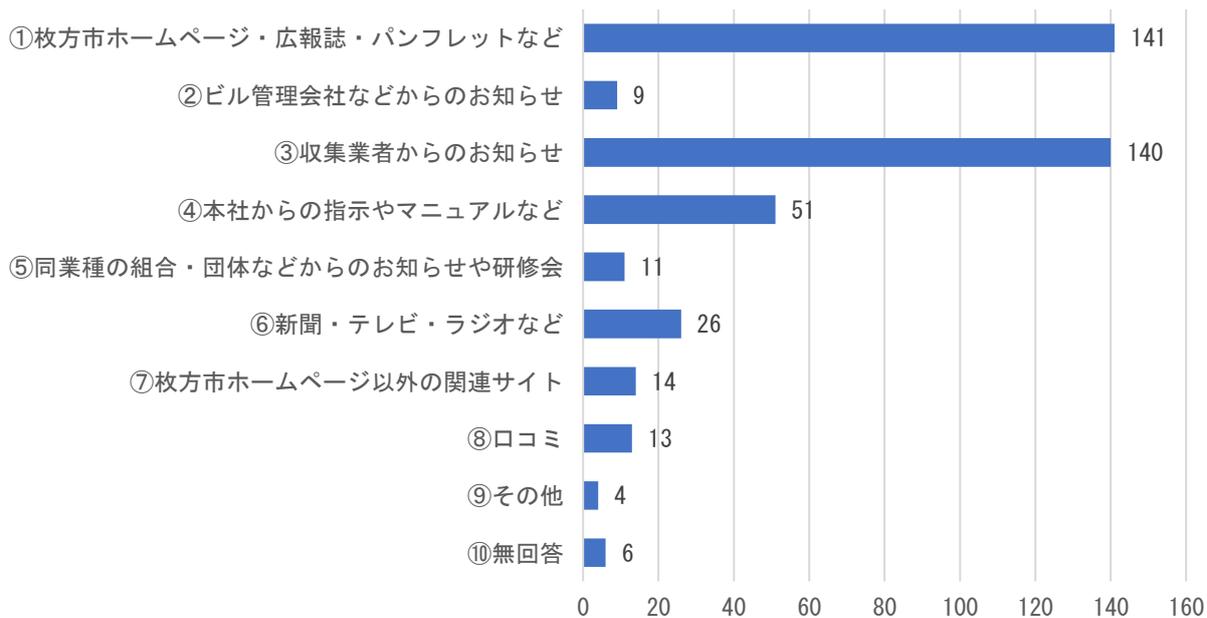


回答事業者の53.3%がごみ減量に関する責任者を設置している結果となっている。

(4) ごみ減量・リサイクルに関する情報の入手先[ごみ減量・リサイクルに関する情報で参考としているものをすべて選んでください。]

No.	設問	件数
1	枚方市ホームページ・広報誌・パンフレットなど	141
2	ビル管理会社などからのお知らせ	9
3	収集業者からのお知らせ	140
4	本社からの指示やマニュアルなど	51
5	同業種の組合・団体などからのお知らせや研修会	11
6	新聞・テレビ・ラジオなど	26
7	枚方市ホームページ以外の関連サイト	14
8	口コミ	13
9	その他	4
10	無回答	6

N=244



その他の回答 (一部抜粋)

・他の飲食同業者 ・インターネット

回答事業者が参考する情報として、収集業者からのお知らせと枚方市のホームページ等の情報を参考としている割合が大きい結果となっている。

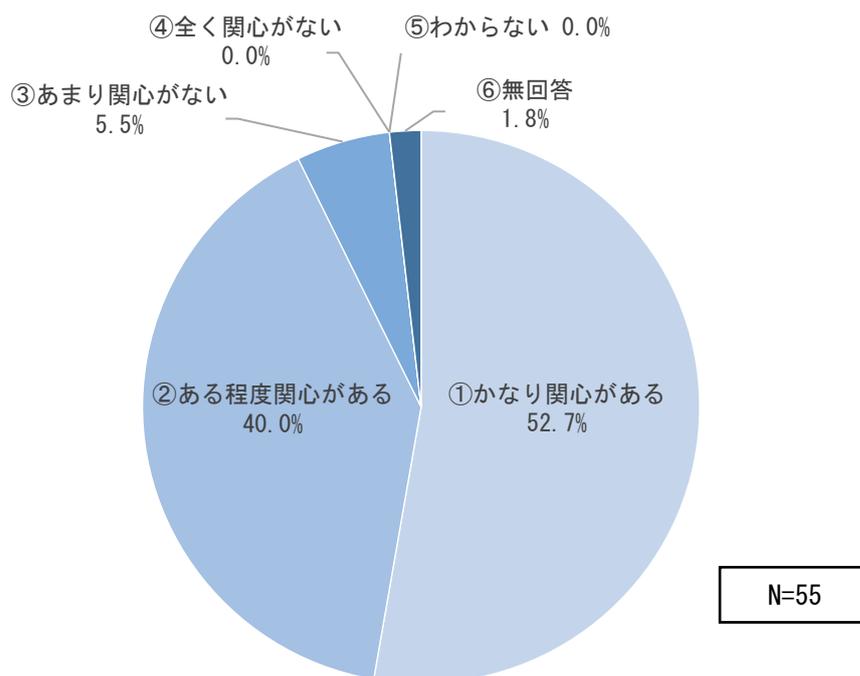
2 食品ロスの削減について

※本項目は、業種が「百貨店・スーパー」、「コンビニエンスストア」、「食品関連小売業」、「飲食店・レストラン」の事業者回答を集計している。

(1) 食品ロス削減への関心について

[貴事業所の食品ロス削減について、どの程度関心がありますか。
あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	かなり関心がある	29	52.7%
2	ある程度関心がある	22	40.0%
3	あまり関心がない	3	5.5%
4	全く関心がない	0	0.0%
5	わからない	0	0.0%
6	無回答	1	1.8%
7	合計	55	100.0%



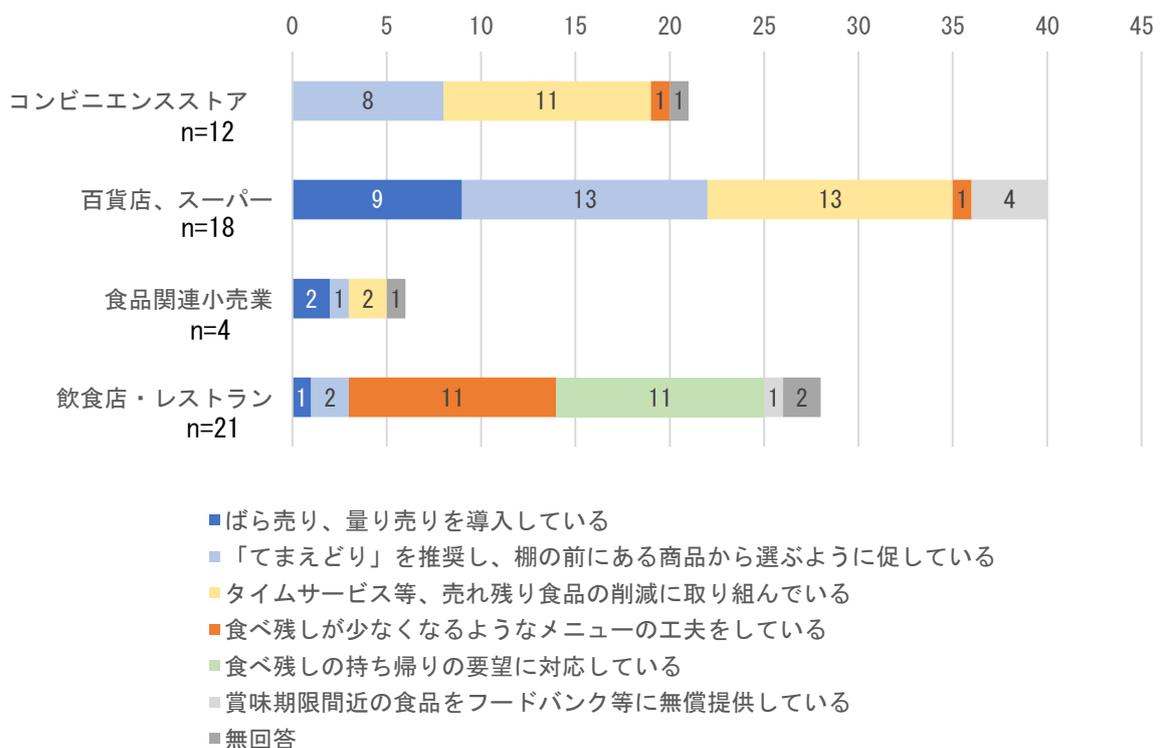
回答事業者の92.7%が食品ロス削減について、関心を持っている結果となっている。

(2) 食品ロス削減の行動について

[食品ロス削減について、貴事業所で取り組んでいることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。]

No.	設問	件数
1	ばら売り、量り売りを導入している	12
2	「てまえどり」を推奨し、棚の前にある商品から選ぶように促している	24
3	タイムサービス等、売れ残り食品の削減に取り組んでいる	26
4	食べ残しが少なくなるようなメニューの工夫をしている	13
5	食べ残しの持ち帰りの要望に対応している	11
6	賞味期限間近の食品をフードバンク等に無償提供している	5
7	その他	5
8	無回答	4

N=55



事業者が食品ロス削減のために取り組んでいることについて、回答のあったすべてのコンビニエンスストアでは、「タイムサービス等、売れ残り食品の削減」に取り組んでおり、次いで、「てまえどり」を推奨している割合も大きい結果となっている。

回答のあった百貨店、スーパーでは、「ばら売り、量り売り」、「てまえどり」、「タイムサービス等、売れ残り食品の削減」に取り組んでいる割合が大きく、一部で「フードバンク等への寄付」に取り組んでいる結果となっている。

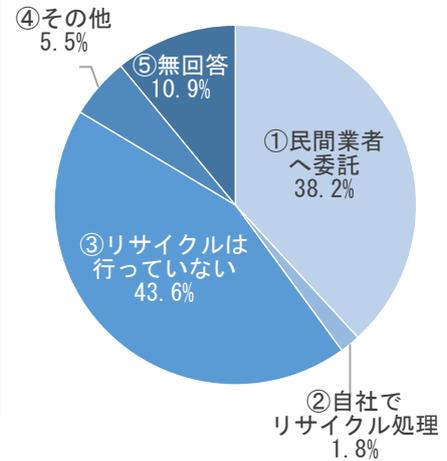
回答のあった食品関連小売業では、「ばら売り、量り売り」、「てまえどり」、「タイムサービス等、売れ残り食品の削減」に取り組んでいる結果となっている。

回答のあった飲食店・レストランの約半数では、「食べ残しが少なくなるようなメニューの工夫」、「食べ残しの持ち帰りの対応」に取り組んでいる結果となっている。

(3) 資源化可能な食品廃棄物のリサイクルについて

[「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」に基づき、食品ロスなどの食品廃棄物のうち、飼料・肥料等の原材料となるものは、リサイクルに取り組むことが求められています。貴事業所では、食品廃棄物のリサイクル処理に取り組んでいますか。あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	民間業者へ委託し、リサイクル処理を行っている	21	38.2%
2	生ごみ処理機を導入し、自社で食品廃棄物をリサイクル処理している	1	1.8%
3	リサイクルは行っていない(他のごみと分けずに排出)	24	43.6%
4	その他	3	5.5%
5	無回答	6	10.9%
6	合計	55	100.0%

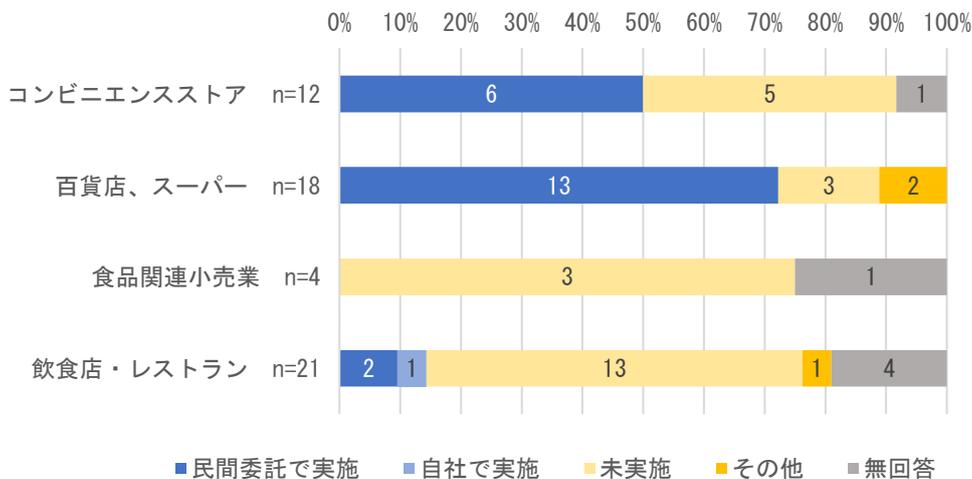


過半数以上もの事業者がリサイクルを実施しているが、リサイクルを行っていない事業者も多数存在するため、引き続き、事業者に対し、啓発活動等を行っていく必要がある。

N=55

<業種別クロス集計>

業種別のクロス集計結果からみると、百貨店・スーパーは食品リサイクルの取り組みが進んでおり、食品小売業や飲食店・レストランではほとんどが未実施となっている。



**(4) 食品ロス削減や食品廃棄物のリサイクルに向けた今後の取り組みについて
【食品ロス削減や食品廃棄物のリサイクルに向けて、今後、取り組みたいと思うことはありますか。【自由記入】】**

【回答一部抜粋】

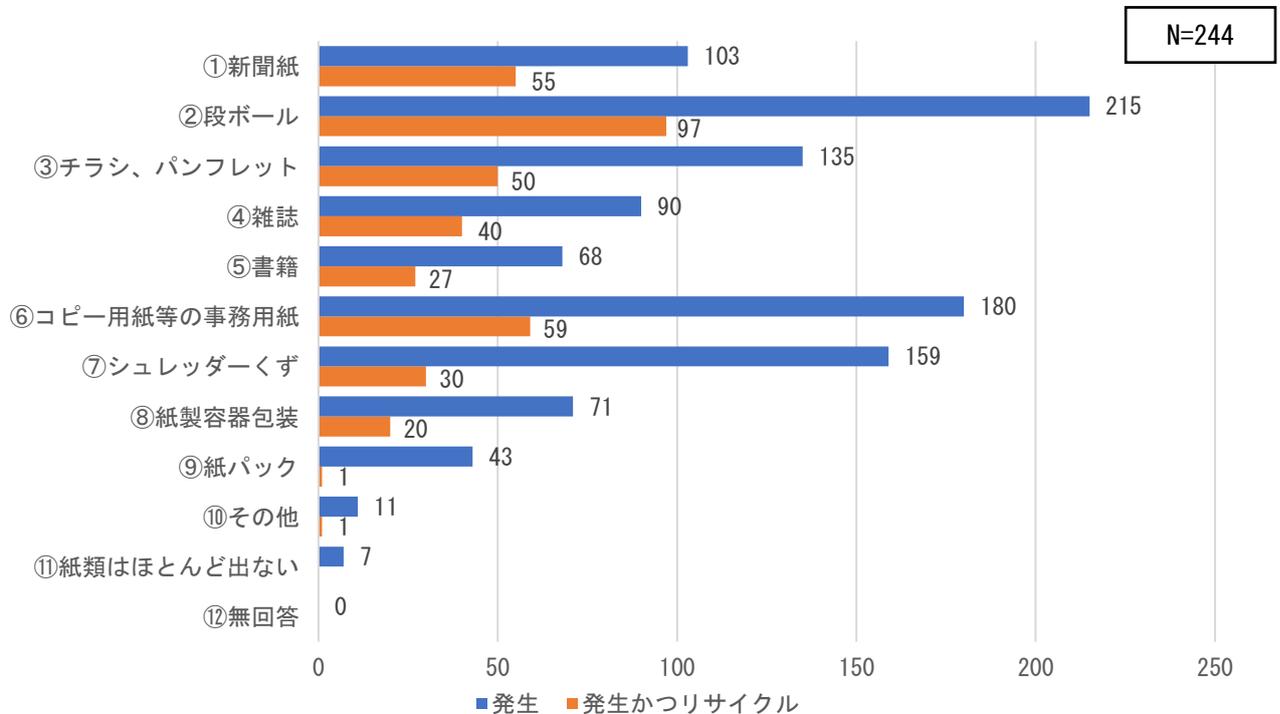
- タイムサービスでほぼ売り切っているなので今後も続けていきたい。
- 大阪府主催の食品ロス削減キャンペーンに参加し、来店されるお客様へ食品ロス削減を告知。
- 食品廃棄物リサイクルについては、塵芥処理業者と交渉し今後リサイクルできる仕組みを検討中。
- 見切り販売等のとりくみ
- 過剰在庫にならないようにすでに取り組んでおります。
- タイムサービス等で売れ残りがないようにしていく。
- 現状は魚あらのみリサイクルしているが、今後、野菜くずや廃棄食品もリサイクルしていきたい。
- 店内の売れ残りを食品リサイクル（肥料化・炭化）
- キャンペーンを利用した店内での見切り売切販売
- 食品廃棄物リサイクルに取り組みたい気持ちはありますが、機材購入するまで資金に余裕がない。
- 循環農法に更に取り組みたい。子ども食堂への提供など。

3 ごみの減量・リサイクルについて

(1) 事業所から発生する紙類について

[貴事業所で発生する紙類の種類について教えてください。また、発生している紙類はリサイクルしているか教えてください。]

No.	設問	発生		うちリサイクル実施	
		発生件数	回答事業者 に対する割合	リサイクル 実施件数	リサイクル 実施割合
1	新聞紙	103	42.2%	55	53.4%
2	段ボール	215	88.1%	97	45.1%
3	チラシ、パンフレット	135	55.3%	50	37.0%
4	雑誌	90	36.9%	40	44.4%
5	書籍	68	27.9%	27	39.7%
6	コピー用紙等の事務用紙	180	73.8%	59	32.8%
7	シュレッダーくず	159	65.2%	30	18.9%
8	紙製容器包装	71	29.1%	20	28.2%
9	紙パック	43	17.6%	1	2.3%
10	その他	11	4.5%	1	9.1%
11	紙類はほとんど出ない	7	2.9%		
12	無回答	0	0%		

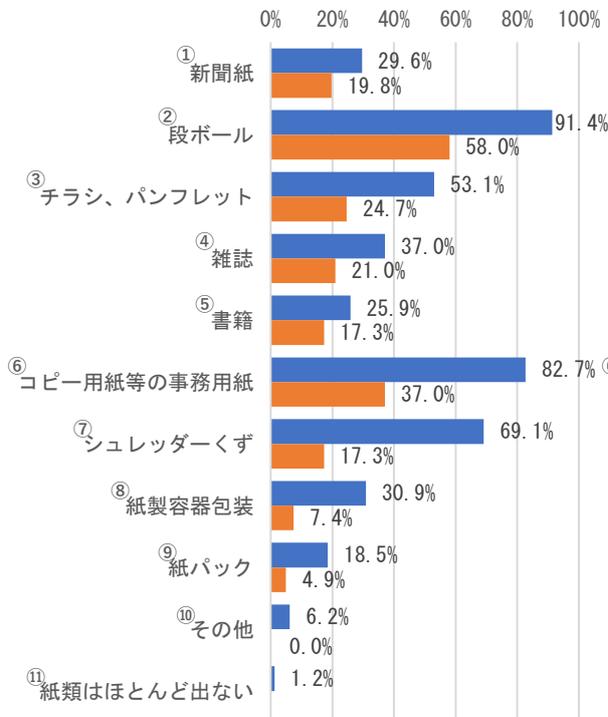


事業所から発生する紙類については、「段ボール」、「コピー用紙等の事務用紙」、「シュレッダーくず」、「チラシ、パンフレット」、「新聞紙」の順に割合が大きい結果となっている。
このうち、リサイクルが実施されている紙類は、「新聞紙」、「段ボール」、「チラシ、パンフレット」、「コピー用紙等の事務用紙」、「シュレッダーくず」の順に割合が大きい結果となっている。

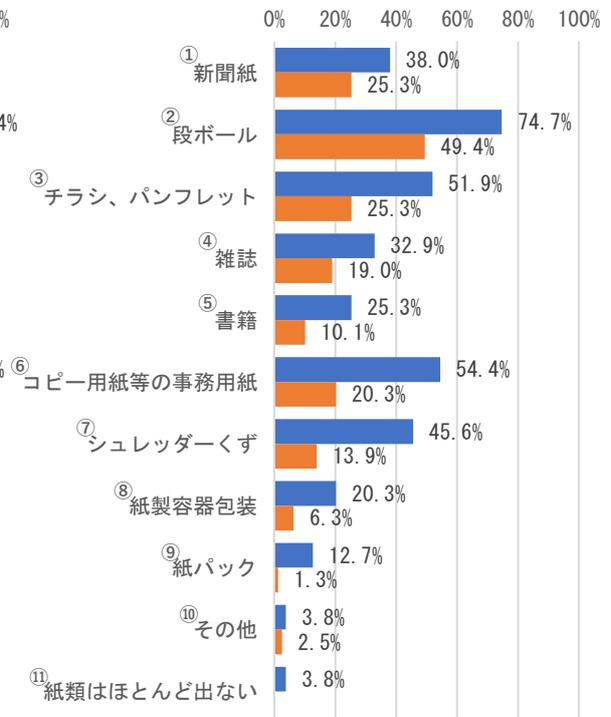
<従業員数クロス集計>

従業員数別のクロス集計結果からみると、従業員数の多い事業所ほど、古紙のリサイクルに取り組んでいる傾向となっている。

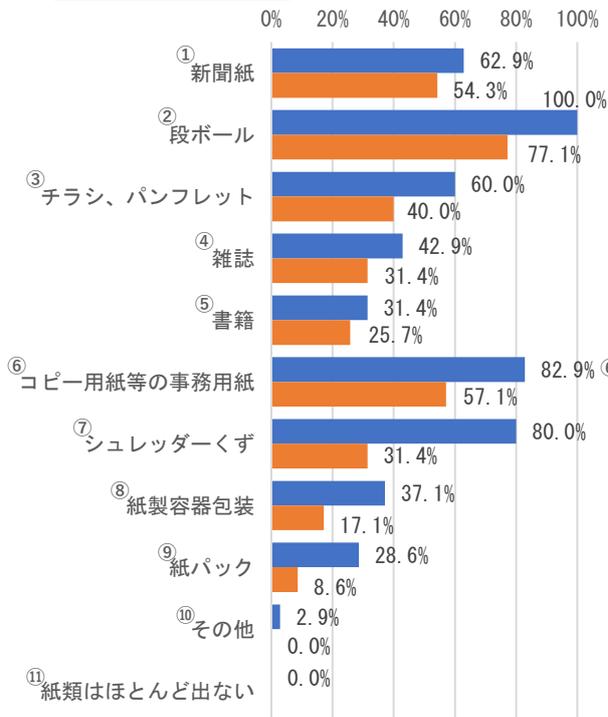
1～9人 (n=79)



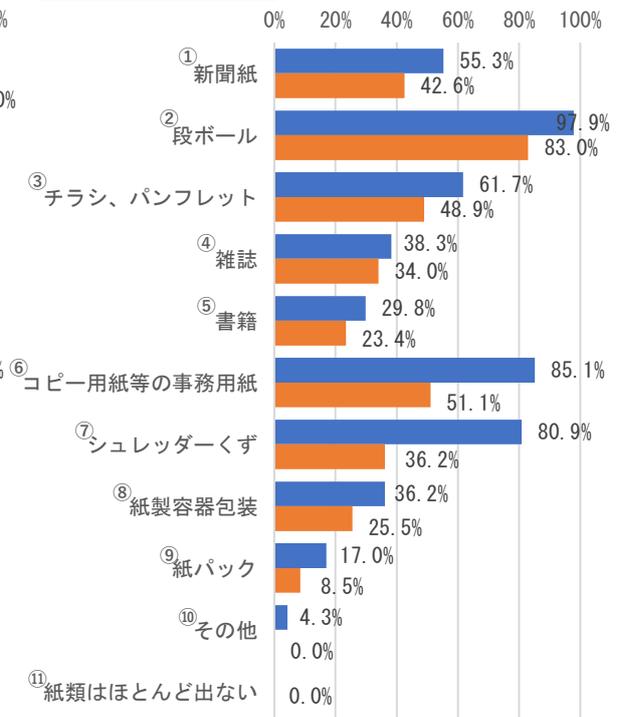
10～49人 (n=81)



50～99人 (n=35)



100人～ (n=47)



(2) 紙類の減量及びリサイクルについて

【貴事業所で発生する紙類を減量・リサイクルするために取り組んでいることがあれば教えてください。【自由記入】】

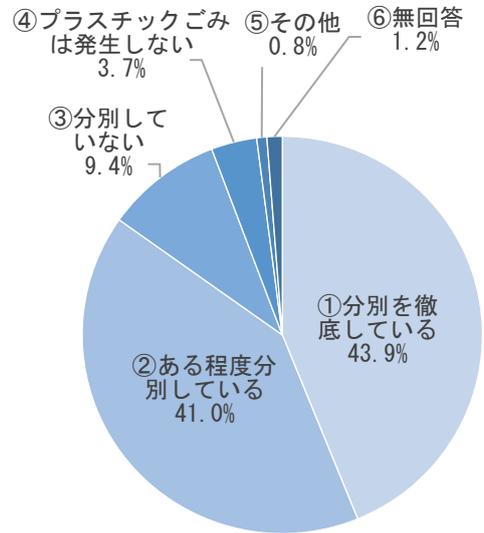
【回答内容（一部抜粋）】

- ゴミの分別。廃品回収は月1回の業者回収にまとめて出している
- 地域のリサイクルゴミに出している
- 分別処理
- リサイクル業者でのリサイクル。裏紙の利用。
- 自治会の再生資源集団回収に出している
- 紙リサイクル業者に収集依頼
- 紙の使用を減らすよう貼紙をしています
- 分別してリサイクル業者に出している
- 段ボールはユーカリさんに持っていったりしてます
- チラシ・事務用紙で使った紙を裏紙としてもう一度使っている。
- 再生紙の使用
- 個人情報に該当しない紙を再度コピー機で（裏紙にして）利用
- 裏紙の再利用
- 本部より毎月コピー使用量を情報提供されている
- 事業所内での情報・通達・資料作成などは裏表を使う
- 毎月、事業所毎に使用枚数を報告している
- 一昨年より品出し時に出る紙製容器包装（ビールのパックやおかしの箱など）を分別して古紙リサイクルにまわしています。
- 店内専用ごみばこを設置、分別
- ペーパーレス化
- チラシなどの裏が白い物はメモ帳に利用している
- コピー用紙の裏使用
- 書類回収し、トイレトペーパーへリサイクル
- 社内文書等の紙発行、保管の削減
- 個人情報の書いていない紙は裏紙として再利用している
- ダンボールはダンボールステーションに捨てに行っている
- 廃品回収（月1回）に出している
- ムダな印刷をしないウラ紙を利用する
- ペーパーレスを進め、ラインワークスを全職員使用して共有している
- 雑誌などは古い物は老人ホームに持って行ってる
- 紙から電子データ等への切り替え、保管など

(3) プラスチックごみの分別について

[事業所から発生するプラスチックごみは、原則、「廃プラスチック類」の産業廃棄物に該当することから、一般廃棄物とは分別して産業廃棄物として処理する必要があります。貴事業所では、プラスチックごみを分別し、産業廃棄物として処理していますか。あてはまるものを1つ選んでください。]

No.	設問	件数	割合
1	分別を徹底している	107	43.9%
2	ある程度分別している	100	41.0%
3	分別していない	23	9.4%
4	プラスチックごみは発生しない	9	3.7%
5	その他	2	0.8%
6	無回答	3	1.2%
7	合計	244	100.0%

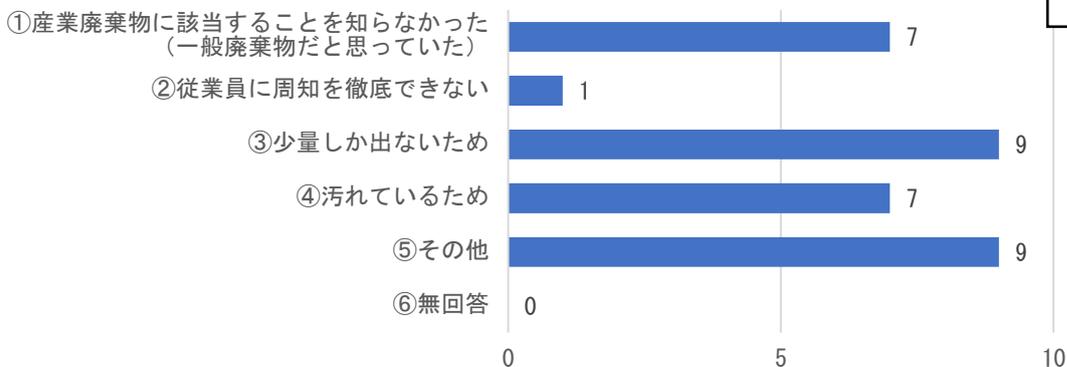


「分別を徹底している」または「ある程度分別している」と回答した事業者の割合が84.9%という結果となっている。

N=244

(3) -1 分別していない場合、その理由としてあてはまるものをすべて選んでください。

No.	設問	件数
1	産業廃棄物に該当することを知らなかった（一般廃棄物だと思っていた）	7
2	従業員に周知を徹底できない	1
3	少量しか出ないため	9
4	汚れているため	7
5	その他	9
6	無回答	0



N=23

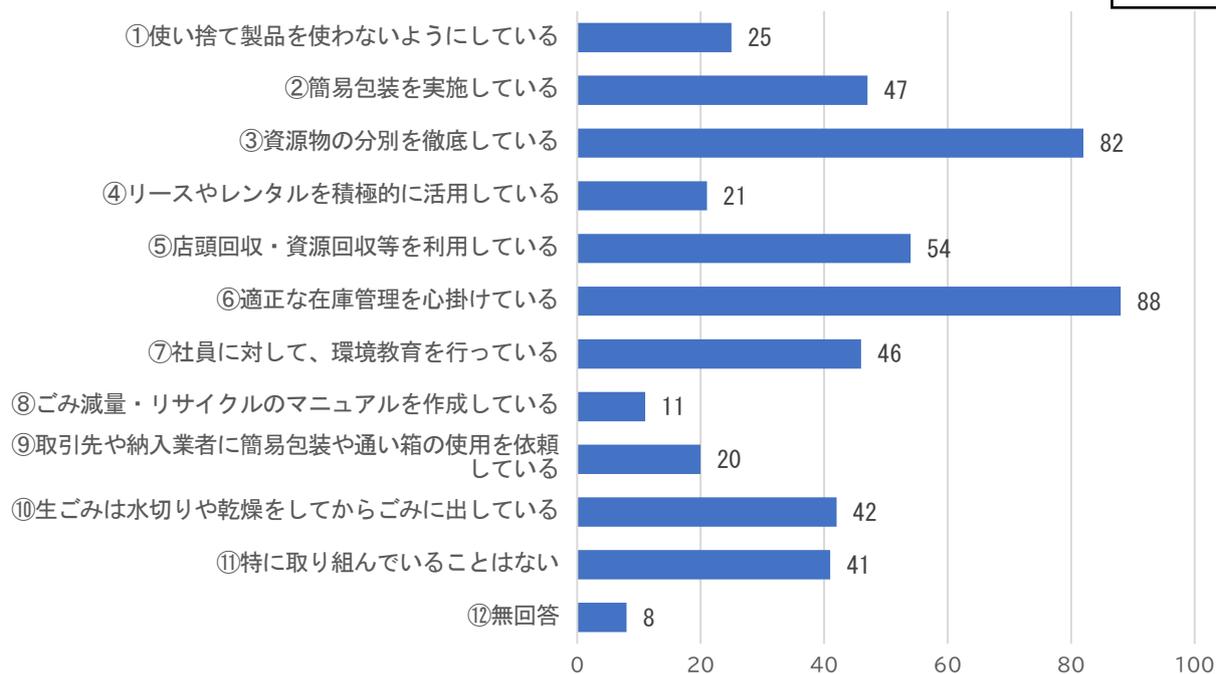
プラスチックごみを分別していない理由としては、「少量しか出ないため」、「産業廃棄物に該当することを知らなかった」、「汚れているため」という回答の割合が大きい結果となっている。

(4) その他ごみ減量・リサイクルの取り組みについて

[ごみ減量・リサイクルについて、貴事業所で取り組んでいるものをすべて選んでください。]

No.	設問	件数
1	使い捨て製品を使わないようにしている	25
2	簡易包装を実施している	47
3	資源物の分別を徹底している	82
4	リースやレンタルを積極的に活用している	21
5	店頭回収・資源回収等を利用している	54
6	適正な在庫管理を心掛けている	88
7	社員に対して、環境教育を行っている	46
8	ごみ減量・リサイクルのマニュアルを作成している	11
9	取引先や納入業者に簡易包装や通い箱の使用を依頼している	20
10	生ごみは水切りや乾燥をしてからごみに出している	42
11	特に取り組んでいることはない	41
12	無回答	8

N=244

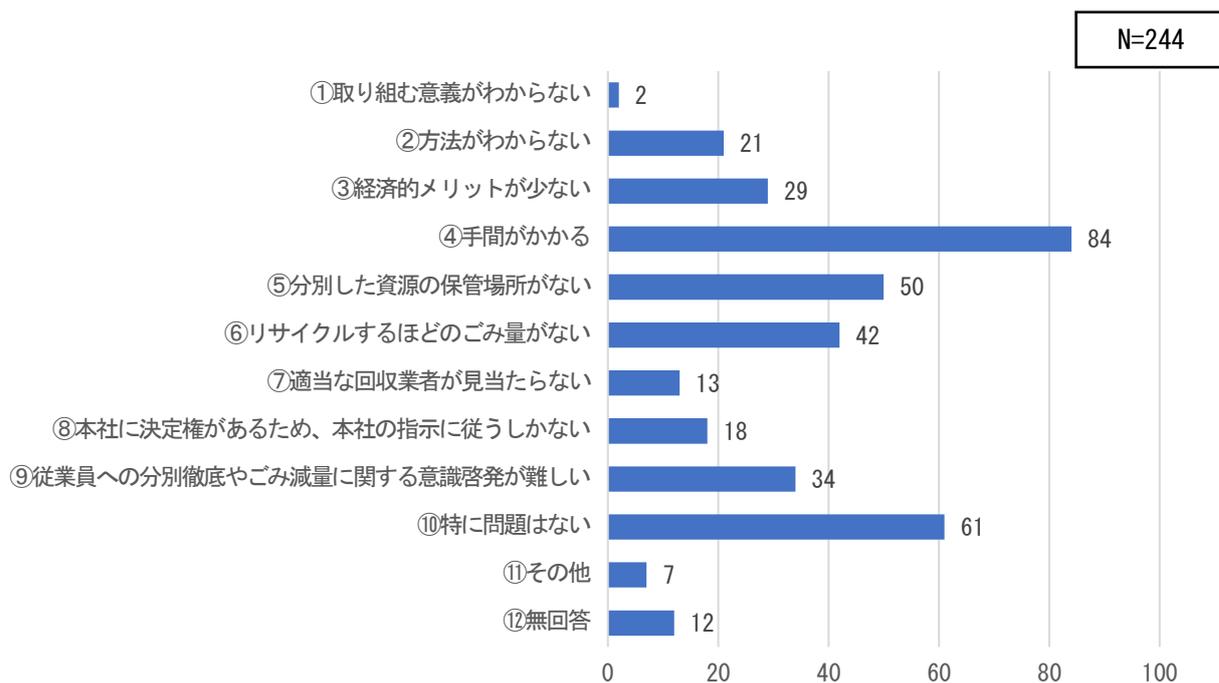


適切な在庫管理や資源物の分別の徹底が高い回答となっている一方、使い捨て製品の不使用、マニュアルの作成、簡易包装等の使用については低い結果となっている。

(5) ごみ減量・リサイクルの課題について

[ごみ減量・リサイクルに取り組む上での課題や問題点について、あてはまるものをすべて選んでください。]

No.	設問	件数
1	取り組む意義がわからない	2
2	方法がわからない	21
3	経済的メリットが少ない	29
4	手間がかかる	84
5	分別した資源の保管場所がない	50
6	リサイクルするほごのごみ量がない	42
7	適当な回収業者が見当たらない	13
8	本先に決定権があるため、本先の指示に従うしかない	18
9	従業員への分別徹底やごみ減量に関する意識啓発が難しい	34
10	特に問題はない	61
11	その他	7
12	無回答	12



その他の回答（一部抜粋）

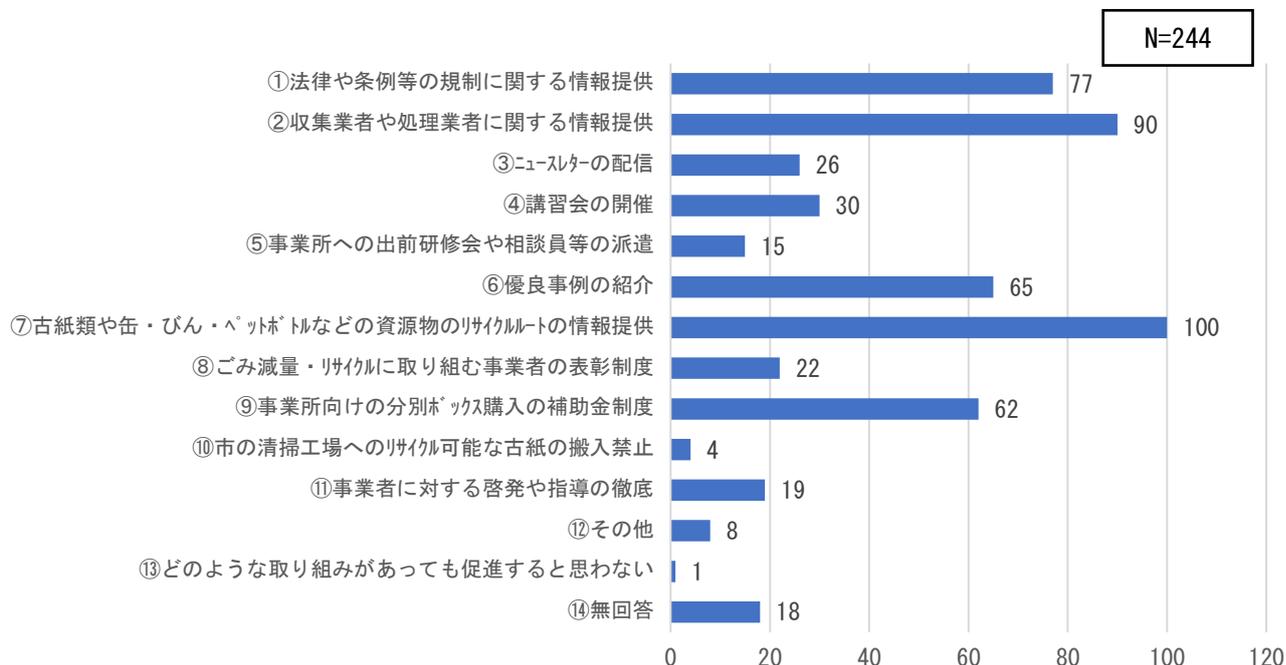
- ・紙おむつ等使用量の削減が難しいものが多い
- ・産廃業者に任せているので、リサイクル状況や方法がわからない

ごみ減量・リサイクルの課題や問題点については、「手間がかかること」が最も回答割合が大きい結果となっている。また、「分別した資源の保管場所がない」や「リサイクルするほごのごみ量がない」が比較的、回答割合が大きい結果となっている。

4 市の施策について

枚方市が実施する事業者へのごみ減量・リサイクルの推進に関する取り組みについて、今後、実施するとしたら、効果的であると思う施策としてあてはまるものをすべて選んでください。

No.	設問	件数
1	法律や条例等の規制に関する情報提供	77
2	収集業者や処理業者に関する情報提供	90
3	ニュースレターの配信	26
4	講習会の開催	30
5	事業所への出前研修会や相談員等の派遣	15
6	優良事例の紹介	65
7	古紙類や缶・びん・ペットボトルなどの資源物のリサイクルルートの情報提供	100
8	ごみ減量・リサイクルに取り組む事業者の表彰制度	22
9	事業所向けの分別ボックス購入の補助金制度	62
10	市の清掃工場へのリサイクル可能な古紙の搬入禁止	4
11	事業者に対する啓発や指導の徹底	19
12	その他	8
13	どのような取り組みがあっても促進すると思わない	1
14	無回答	18



その他の回答（一部抜粋）

- ・有価引取り推進 ・業者紹介等 ・SNS などでもっと周知してもらう
- ・回収業者に対する指導の徹底 ・リサイクルすることによる経済的メリットの明確化

事業者がごみ減量・リサイクルに効果的と考える市の施策としては、「資源物のリサイクルルートの情報提供」や「収集業者・処理業者に関する情報提供」、「法律や法令等の規制に関する情報提供」の回答割合が大きい結果となっている。

5 ご意見について

その他、ごみに関するご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。【自由記入】

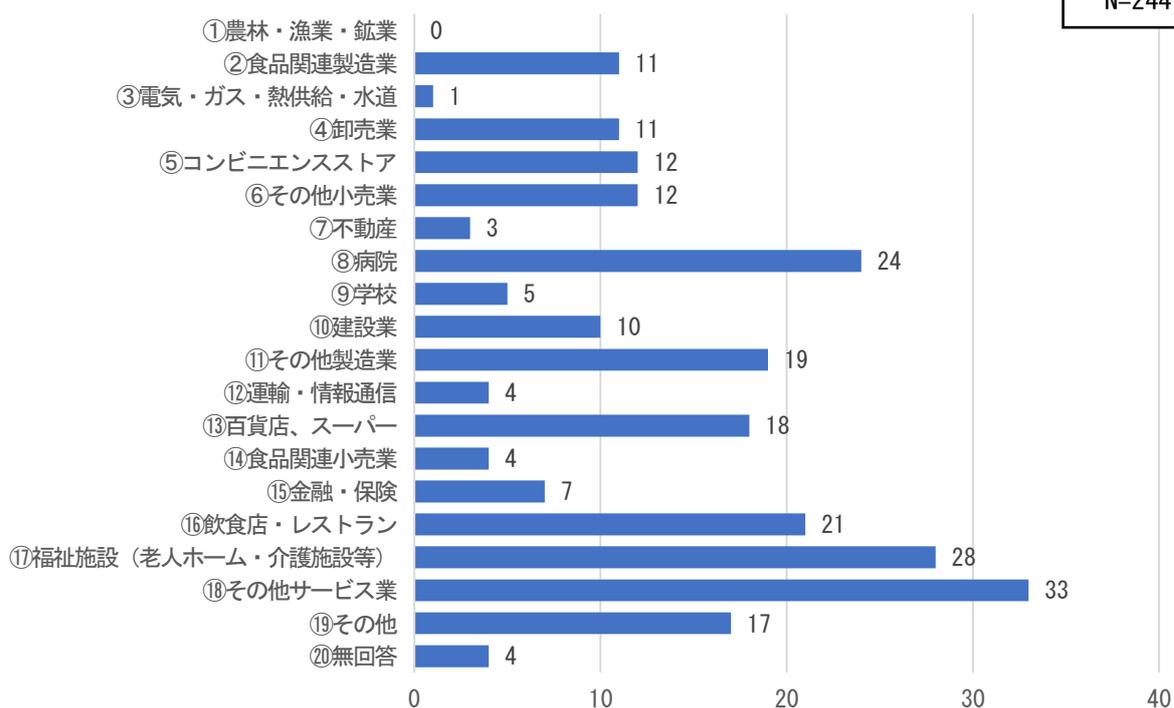
【回答一部抜粋】

- ごみ収集業者にお店のごみを回収していただいておりますが、段ボールは週3回、缶は週1回でしたが、缶に関しては袋ごとに有料になったと言われました。他の市では毎日段ボールも缶も回収してくれます。月に支払う料金はほぼかわらないのにこの差はなんなのでしょう。
- 店舗運営を実施するにあたり大なり小なりの不法投棄がある。その際のごみの回収ルートがない（車のバッテリーや、石油ファンヒータなどが捨てられている）。市は上からお題目を唱えるだけでなく、そういったことサポートも実施してほしい。
- ごみ収集料が高い。週に45L袋を1、2袋しか出さないのに1万円近くする。ごみ量が少ない事業者向けの金額設定をお願いしたい。（大阪市は無料で持って帰ってくれます。）
枚方市は役所の人件費率が高すぎます。もっと削減してごみ処理料金を安くしてください。
- 当事業所では多量のおむつを排出しています。市内全域で推計したら膨大な量になると考えられます。是非ともリサイクル等を検討して欲しい。
- 各社員へのごみの排出量の削減に対する意識の向上を目的とする教育を継続していきます。
- 廃棄物の有価引き取り業者を枚方市役所のサイトで探せたらとても助かります。
- 一般廃棄物収集運搬許可業者から、分別の方法など捨て方を丁寧に教えていただきました。
- 事業系・家庭系を区別せずに有価引取り品目が増えれば、ごみが減りリサイクル率は上がるのでは。
- ペットボトルキャップや缶のフルタブ回収で、学校等車イスに寄付しています。
- プラスチック廃棄物、種類別で有価引取りしてくれるところや汚れているプラスチックなら燃料として引き取ってくれる業者の紹介等してほしい。
- ごみ回収業者が重量計を使わず、排出量を提示してきますが、実測と大きく異なるように思えます（実際の排出量よりかなり多く計算している）。計測機付きのパッカー車をもっと導入し、こちらが望んだ場合、袋数や感覚で計量した数値、実測値の差を知れるようにし、目に見えて排出量が減り、排出量が減ると、回収費が安くなるようにすれば、ごみは減っていくと思います。
- 枚方市の芸人や有名な方にごみ減量・リサイクルに関することを配信してもらえるとわかりやすいと思いました。
- プラスチックは汚れていたら生ごみと認識しているが、なぜなのか。分別の意味があるのかわからないのと迷ってしまう。汚れをとる必要がある場合、水を多く使う。どの程度の汚れなら生ごみでよいのか。
- 回収業者に払うお金が気になります。
- 事業者の実施する古紙回収に補助金を考えて。（少額でよい。気持の問題）

6 貴事業所について

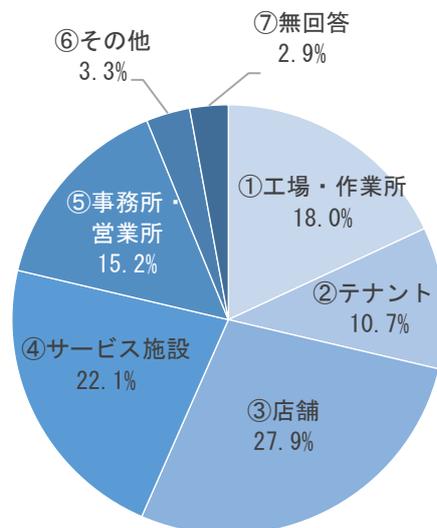
(1) 貴事業所の業種について該当するものを1つ選んでください。

No.	設問	件数	割合
1	農林・漁業・鉱業	0	0.0%
2	食品関連製造業	11	4.5%
3	電気・ガス・熱供給・水道	1	0.4%
4	卸売業	11	4.5%
5	コンビニエンスストア	12	4.9%
6	その他小売業	12	4.9%
7	不動産	3	1.2%
8	病院	24	9.8%
9	学校	5	2.0%
10	建設業	10	4.1%
11	その他製造業	19	7.8%
12	運輸・情報通信	4	1.6%
13	百貨店、スーパー	18	7.4%
14	食品関連小売業	4	1.6%
15	金融・保険	7	2.9%
16	飲食店・レストラン	21	8.6%
17	福祉施設（老人ホーム・介護施設等）	28	11.5%
18	その他サービス業	33	13.5%
19	その他	17	7.0%
20	無回答	4	1.6%
21	合計	244	100.0%



(2) 貴事業所の形態について該当するものを1つ選んでください。
 [※複数の形態が複合している場合、延べ床面積が最も広いものについてご回答ください。]

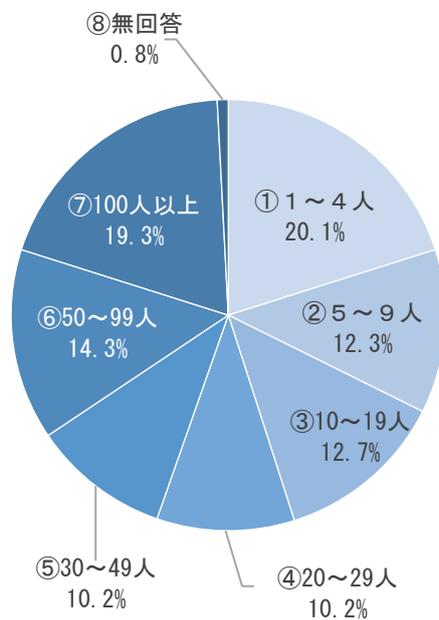
No.	設問	件数	割合
1	工場・作業所	44	18.0%
2	テナント (ビルや商業施設の一部を賃借して営業する小売・飲食・サービス業)	26	10.7%
3	店舗 (小売・飲食) (テナントを除く)	68	27.9%
4	サービス施設 (病院・福祉施設・学校など) (テナントを除く)	54	22.1%
5	事務所・営業所	37	15.2%
6	その他	8	3.3%
7	無回答	7	2.9%
8	合計	244	100.0%



N=244

(3) 貴事業所の従業員数 (パート・アルバイトを含む) について、あてはまるものを1つ選んでください。

No.	設問	件数	割合
1	1~4人	49	20.1%
2	5~9人	30	12.3%
3	10~19人	31	12.7%
4	20~29人	25	10.2%
5	30~49人	25	10.2%
6	50~99人	35	14.3%
7	100人以上	47	19.3%
8	無回答	2	0.8%
9	合計	244	100.0%



N=244